



共に支えあう安心と
ぬくもりのある地域づくり

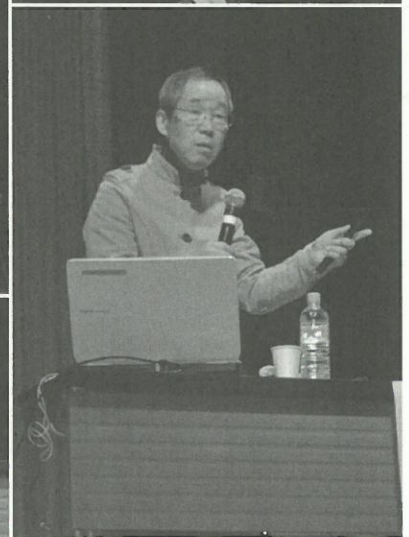


No.154

平成30年(2018)
4月1日号
年4回
(1月・4月・7月・10月)
発行

あげお社協だより

第27回 地域福祉を考える集い



支え合い助け合える地域づくりを目指して!

社協だより154号の内容

- 第27回 地域福祉を考える集い…………… P 2・3
- 平成29年度 小中学生作文コンクール~人とのつながり・地域での支え合い~
善意銀行・ボランティア基金報告…………… P 4・5
- 「手」で表すことば、「目」で見ることば…………… P 6
- 日本赤十字社募金のお願い・会員会費報告・共同募金報告………… P 7
- お知らせ掲示板…………… P 8

編集・発行人

社会福祉法人

上尾市社会福祉協議会

〒362-0011 上尾市大字平塚724番地
上尾市総合福祉センター内
TEL **048-773-7155**
FAX **048-772-8647**

<http://www.ageo-shakyo.or.jp/>

この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

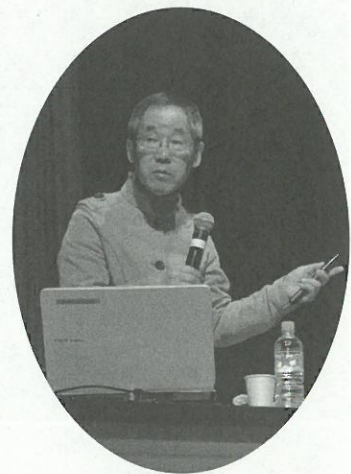
第27回 地域福祉を考える集い

寄り添う支援と支え合える地域づくり

～地域包括ケアシステム構築に向けて～

平成30年2月17日(土) 上尾市文化センターに於いて第27回地域福祉を考える集いを開催しました。第1部では平成29年度の感謝贈呈式及び小中学生作文コンクール表彰式が行われ、第2部ではシンポジウムが開かれました。当日は、多くの地域関係者をはじめ、地域包括支援センター、行政関係者など約500人が参加しました。

近年、少子高齢化社会により高齢者の割合が増加し、支え合い助け合いの必要な方が増えている状況です。今回のシンポジウムは、上尾市の超高齢社会の状況を知り、地域の中で自分らしく暮らしていけるために、今後さらに必要となるであろう「支え合い・助け合い活動」「ご近所同士のつながり」について、行政、地域の事例発表を通じて皆さんと一緒に考える機会となりました。



住民福祉総合研究所 所長
木原 孝久 氏

基調講演として、木原氏より、全国各地での講演活動や住民同士のつながりについて研究されてきたことを踏まえ、支え合いや助け合い活動等の事例について、以下の講演をしていただきました。

生活する上で何らかの支援が必要となった場合には、介護保険サービス等の公的なサービス提供があります。しかしながら、個々の生活サイクルや必要とされるニーズは異なるため、公的な支援だけでは補えない側面も同時にあります。このような一人ひとりのニーズに沿った支援活動として現在、有償活動が全国的に広がっています。

有償サービスが期待されていること

生活の困りごとを柔軟に支えてくれるサービスが、介護保険等のサービスでは補いきれないニーズに対する支援として求められています。

また、家族やご近所等の周囲に頼める人がみつからない場合、身近で顔と顔がつながる安心できる地域の仕組みとしても有償サービスが期待されています。

有償サービスはどこへ行くのか

有償サービスは、単に困りごとに対して支援するだけにあるのではなく、「支え合い・助け合い」「困ったときはお互い様」など、ご近所同士のつながりの意識が根底にある活動でもあります。

ある市では、有償活動を「地域とのつながりが途絶えてしまった人を再び地域へ戻す活動」ととらえて、困りごとを抱えている方に対して、あえてその方の友人や付き合いのあるご近所の方に協力してもらっています。そうすることで、自然な形で「有償活動」が「支え合い活動」となり、困ったときはお互い様という、つながりのある地域へと変化していきました。



今回、シンポジウムを通じて大きなヒントをいただきました。それは「支える」「支えられる」という関係だけではなく、お互いに支え合えるような地域であることが大切ということであり、また支え合える関係や仕組みがあることで誰もが自分らしく生きていくことができるとが、住みやすい地域になるということです。

上尾市における地域包括ケアシステム



上尾市高齢介護課 主任 遠藤 和秀 氏

遠藤氏からは、地域包括ケアシステムの構築に向けた上尾市の進捗状況について発表していただきました。

現在、上尾市の人口は22万8千人を超え、高齢者の数は約6万4000人となりました。高齢化率は26.5%となり、4人に1人が高齢者という現状となっています。

団塊の世代が75歳になる2025年に向け、高齢者が自宅で生活しながら、医療や介護、生活支援や介護予防が提供される「地域包括ケアシステム」という仕組み作りが急務となっています。上尾市では、平成27年から①在宅医療・介護②認知症③生活支援体制整備④介護予防の4つの施策に取り組んできました。医療介護の関係者や自治会などが連携して資源開発を行う「上尾市地域包括ケアシステム推進協議会」の立ち上げと、介護予防や生活支援サービスの提供体制を整備する「生活支援コーディネーター」の設置もいたしました。様々な分野の方が地域でつながり、共に高齢者を支えられる体制づくりをこれからも進めてまいります。

支え合い助け合えるまちづくりを目指して!



上尾市社会福祉協議会上平支部 支部長 木原 鐵夫 氏

その基盤をもとに、今度は「具体的な支援の機能」となる「有償助け合いサービス」を立ち上げることになりました。ご近所同士のつながりが充実することが一番望ましいですが、地域には様々な事情の方が住んでいます。「ご近所だからこそ、煩わしい」と感じる方など、濃密な人間関係が苦手な方でも、住民同士の支えあいを通じて「甘え上手」になってもらえればと思います。また、住民が協力者として役割をもって参加できる場でもあり、「お互い様」が当たり前の地域になることを目指して取り組む予定です。

井財支え合いの会の発足に向けて



井財事務区 区長 田中 崇氏
一般社団法人セーフティネット 代表 清水 さえ子氏

「ご近所同士の支え合い」によって、住み慣れた地域で生活が続けられるように、顔と顔がつながる安心できる仕組みに向けて歩んでいく考えです。

田中氏からは、区内での「高齢者孤立死の発見」をきっかけに、見守りと生活支援の仕組み作りに向けて、既存の団体と連携して動き始めた事務区の取り組みについて発表していただきました。

孤立死の実例を目の当たりにして感じたのは、見守りや支え合いの仕組みに対する自分の思いが「漠然」から「確信」に変わったことでした。井財は買い物ができるスーパーなどの店が遠く、高齢者にとっては生活支援が必要な状況もあります。このことから、見守りだけではなく生活支援も対応する仕組みが必要と考えました。当事務区では、「井財街づくり協議会」としての活動もあり、そこで設けている分科会のひとつとして「支え合いの会」を位置付けて進めていくことにしました。そして、同じ井財にお住まいの清水さんが運営されている「セーフティネット」の支援事業と思いが重なる部分があったため、分科会の一員になっていただき、具体的な内容を詰めていく流れとなりました。

参加者の声

これからの生き方の目標が固まりました。50世帯を目安に自分ができることで助け合っていきます。

見守りや支援は隣近所のかかわりが一番安心できるのではないかと思います。

自分が住む地域では、あいさつからはじまり、色々なことに参加することが大事だと思いました。

第1部で「あいさつの大切さ」について中学生が朗読したのはよかった。このような子どもたちが沢山いると思うと嬉しく思いました。

たくさんの方のご来場、誠にありがとうございました。



平成29年度

小中学生作文コンクール

人とつながり・地域での支え合い

上尾市社会福祉協議会では、市内小学4年生から中学生の方を対象に、家族や友達、地域の方とのつながりをおし、他人を思いやる気持ちや一人ひとりをかけがえのない存在として大切にすることをテーマとした作文コンクールを実施しております。
今年度は、小中学生98名から応募いただき、10名の方が受賞されました。その中から最優秀賞の2作品をご紹介します。他の受賞作品は、HPでもご紹介していますので、ぜひ一読ください。

受賞作品 (敬称略)

最優秀賞 (会長賞)	上平小学校 6年生 前花 美帆
最優秀賞 (市長賞)	原市中学校 2年生 芹澤 那乃花
市議会議長賞	大石中学校 1年生 棚橋 菜々美
教育長賞	大石中学校 1年生 山木 郁実
審査員特別賞	大石中学校 2年生 貫井 茉緒
優秀賞	東町小学校 6年生 布上 明日奏
	芝川小学校 6年生 岩塚 奏音
	尾山台小学校 6年生 東海林仁菜
	大石小学校 5年生 佐藤 咲良
	東中学校 1年生 井出 二葉

最優秀賞

障がいと支え合い

上平小学校 六年 前花 美帆

私の一歳上の親友には、生まれつきの障がいがあります。この事を初めて聞いた時は、正直「えっ・・・」と思いました。理由は、私と話していても遊んでいてもその子は暗い顔一つせず、一緒にいると私までもが笑顔になれるような快活な人だったからです。

その子は、障がいでも左足だけが内股で2回足の手術をしたと言っていました。術後は、足の激痛で、3日程ベッドから起き上がって歩く事すら出来なくて、頭がモヤモヤしていた時があったと言います。病院から退院した時は嬉しい気持ちとこれからもこの障がいと付き合っていくかなければいけないという2つの気持ちがあったそうです。学校に行けるようになるまでが長く、ドクターストップで激しく動いてはだめで復活まではずっと家で過ごしていたそうです。

学校に行けるようになると、松葉づえ・コルセットをして学校へ行って体育は出来ないし動くにも友達に助けてもらってすぐし訳なかつたと言っていました。卒業式はしっかり1人で歩けたと言っていました。親友が、この話を話し終えると私は泣きそうになりました。

私は親友本人ではないので激痛も友達に助けてもらっている申し訳無い気持ちもわかりません。この作文を読んだ誰かに「ただの偽善者だ」と言われても仕方ないと思います。でも、私が偽善者だと思われても障がいのある方をからかったりいじめたりは絶対にしないで下さい。親友もいじめられてとても苦しかったと言っていました。だからこそ、私は将来障がいのある方を支えられる「看護師」の職に就いて障がいのある方をけん身的に支えることが出来たらいいなと思っています。

最優秀賞

あいさつの大切さ

原市中学校 二年 芹澤 那乃花

私の家では小さい頃から両親に「近所で会う人にきちんとあいさつをしなさい。」と言われてきました。私は小さい頃、顔は知っていても話したことがない大人の人たちに自分から進んであいさつすることにすごく抵抗がありました。恥ずかしくてなかなかあいさつ出来ない私に、両親はあいさつする理由を教えてくださいました。それは、「自分の存在を地域の人に知ってもらうことで、必ず誰かが助けてくれる。」ということでした。例えば、震災のときなど家族の行方が分からなくなった時に顔を覚えられていれば、どこにいるか教えてもらえるかもしれない。家族と一緒にいない時に一緒に避難してくれたら、声をかけてくれるかもしれない。それ以外の時でも困ったことがあったら必ず助けてくれるんだよ。ということを強く教えられました。実際に、妹が小さい頃、目を離したすきにいなくなりました。近所の人に一緒に探して見つけてもらいました。また、近所の人が家の鍵を無くした時、みんなを探して見つけることができました。

最近では、秋には柿や栗。春には梅や竹の子。普段でも、たくさん季節の野菜を頂いて、私の家の食卓には新鮮な野菜が並ばない日はありません。それもまた、両親たちが築いてきた地域の人のつながりの一つだと思います。今では、近所の人達が私達兄弟に声をかけてくれたり、「大きく育ったね。」と成長を喜んでくれる事がとても嬉しいですね。

この作文を書く中で、これから自分達に出来る事はないかと考えてみました。例えば、登下校のときいつも同じ道であいさつを交わすお年寄りを最近見かけないと感じたら、両親や地域の人に話してみる。そうすることで、その人の家を訪ねてみたり、留守にしているなどの情報を知ることができ、お年寄りの体調不良などに早めに気づくことが出来るかもしれません。また、新しく引っ越してきた家族の小さな子供たちと遊んだりすることで、地域の軸が広がり、新しい家族も新しい場所でも楽しく生活していく事が出来るのではないかと思います。

この広い世界の中で同じ地域で共に暮らしていることは奇跡のような事だと思えます。笑顔であいさつをし、会話を交わしていくことでたくさんの方が幸せになれるのではないかと思います。これからもしっかりとあいさつをして、地域の人のつながりを深めていきたいです。

善意銀行・ボランティア基金にご協力いただきありがとうございました。

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。 ◆平成29年12月1日～平成30年2月28日受付分 (敬称略・順不同)

善意銀行 (寄付金品)					
寄付者	寄付金(円)	寄付先	寄付者	寄付金(円)	寄付先
上尾市立中央小学校PTA	10,000	上尾市社会福祉協議会	備前の里歩こう会	30,000	上尾市社会福祉協議会
上尾遊技業組合	200,000	上尾市社会福祉協議会	ボランティアグループ手芸の会	50,000	上尾市社会福祉協議会
齋藤君江	50,000	上尾市社会福祉協議会	上尾ライオンズクラブ第209チャリティ カラオケ大会	50,000	上尾市社会福祉協議会
虹の会カラオケ発表会	27,680	上尾市社会福祉協議会	野武 茂	10,440	上尾市社会福祉協議会
向山菜園 吉田良二	5,000	上尾市社会福祉協議会	(株)ベルク 上尾東店	37,874	上尾市社会福祉協議会
上尾歌声広場	8,658	上尾市社会福祉協議会	(株)ベルク 上尾春日店	11,539	上尾市社会福祉協議会
ミント Eco Club	5,000	上尾市社会福祉協議会	富士見いきいきむつみ会	2,813	上尾市社会福祉協議会上尾西支部
保久里地蔵	4,920	上尾市社会福祉協議会	裏千家小川会	30,000	上尾市社会福祉協議会上尾西支部
大河戸 清	10,000	上尾市社会福祉協議会	原市九区いきいきクラブ	10,293	上尾市社会福祉協議会原市支部

善意銀行 (寄贈品)		ボランティア基金	
寄付者	寄贈品	寄付者	寄付金(円)
匿名	介護ベッド	根貝戸団地自治会	660
上尾白ゆり会	タオル 1204枚、石鹸 1121個	こより会	50,000
匿名	書籍 「生きる」 1冊	みやした幼稚園	28,654
コンサートホール上尾	お菓子 大2箱		
オータ桶川駅前店	お菓子 1箱		

11月にお預かりしたご寄付について、前号に掲載もれがありました。お詫びいたします。

スポーツフェスティバルinあげお	2,504	若竹ホームのために
------------------	-------	-----------



平成30年度日本赤十字社募金にご協力をお願いいたします

5月を赤十字運動月間として、各地区の区長さん・班長さんの協力を得て活動資金（寄付金）の協力依頼を行っています。皆さまから預かりした募金は、大規模災害時の災害救援に関わる費用や血液事業等人道的立場や地域社会に根ざした社会福祉事業、自分自身や家族を守る講習会などを実施するための資金として活用されます。

日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区では、上尾市内で火災や水害などが発生した場合、救援物資（布団、毛布、緊急セット）や見舞金を被災された人にお届けしています。また、お住まいの地区にお伺いして救急法講習会等を開催し、多くの皆さまに「日本赤十字社」の活動をご理解いただけるように努めてまいります。



平成29年度 上尾市社会福祉協議会 会員会費報告

(平成30年2月9日現在)

地区名	件数(件)	金額(円)
上尾地区(計)	2,769	1,626,150
① 上尾東	1,169	674,300
② 上尾西	797	502,350
③ 上尾南	803	449,500
平方地区	906	529,510
原市地区	1,229	767,100
大石地区	2,404	1,389,700
上平地区	1,563	997,300
大谷地区	1,341	778,420
原市団地	161	127,900
尾山台団地	329	217,501
西上尾第一団地	284	206,000
西上尾第二団地	255	197,000
その他	80	57,401
行政関係職員	962	736,000
小計	12,283	7,629,982
団体・施設会員会費	290	1,960,000
合計		9,589,982

平成29年度 共同募金運動にご協力いただきありがとうございました

各地区の区長さんをはじめ、各種団体や市民の皆さまにご支援・ご協力をいただき、共同募金運動を実施することができました。以下のとおり、募金実績及び歳末たすけあい募金配分金事業についてご報告させていただきます。ご支援・ご協力ありがとうございました。

共同募金運動にご協力いただいた方

(順不同・敬称略)



- 戸別募金：上尾市区長会連合会／各地区区長会／各事務区自治会／上尾市民
- 学校募金：児童・生徒／保護者／学校職員
- 街頭募金：ボーイスカウト上尾地区協議会／ガールスカウト上尾地区協議会
- 上尾市ボランティア連絡会／上尾市いきいきクラブ連合会／立正佼成会上尾教会
- 輪太鼓虹の会／上尾市民生委員・児童委員協議会連合会／西上尾第二団地自治会
- 法人募金・個人大口募金：個人協力者／上尾市内外企業及び施設
- 職域募金：各地区区長会／上尾市民生委員・児童委員協議会連合会／行政関係職員
- 募金箱設置場所：ラッキーバード／上尾市総合福祉センター

赤い羽根共同募金実績

(平成30年2月9日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	2,945,485
① 上尾東	1,304,467
② 上尾西	764,099
③ 上尾南	876,919
平方地区	641,189
原市地区	2,651,252
大石地区	2,801,263
上平地区	2,179,750
大谷地区	1,753,706
原市団地	72,161
尾山台団地	206,245
西上尾第一団地	291,252
西上尾第二団地	224,747
小計	13,767,050
法人募金・個人大口募金	1,069,205
街頭募金	293,276
学校募金	292,670
職域募金	1,685,570
合計	17,107,771

歳末たすけあい募金実績

(平成30年2月9日現在)

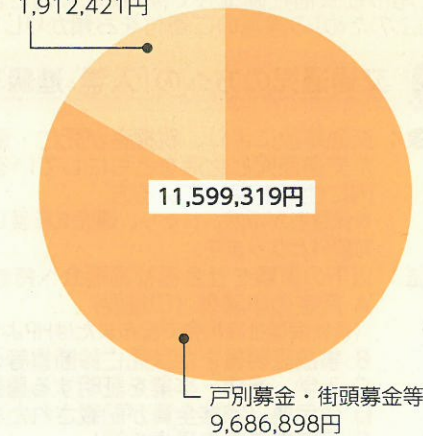
地区名	実績(円)
上尾地区(計)	2,073,506
① 上尾東	940,930
② 上尾西	547,498
③ 上尾南	585,078
平方地区	378,810
原市地区	1,665,163
大石地区	1,784,793
上平地区	1,479,809
大谷地区	1,063,984
原市団地	52,280
尾山台団地	141,202
西上尾第一団地	220,171
西上尾第二団地	164,237
小計	9,023,955
法人募金・個人大口募金	190,000
街頭募金	472,943
合計	9,686,898

法人募金協力団体
・上尾市仏教会

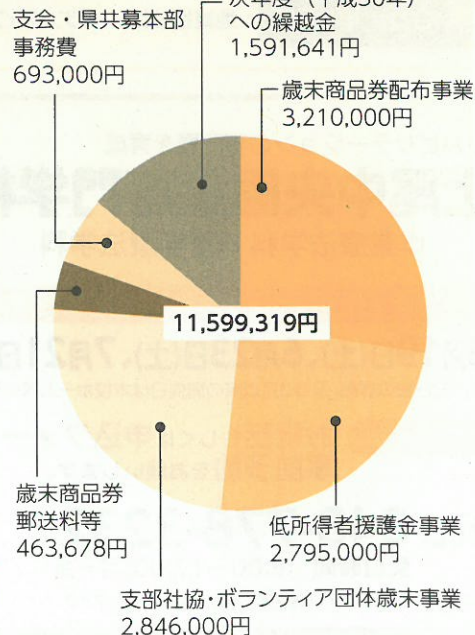
平成29年度 歳末たすけあい募金配分金事業

[収入]

前年度(平成28年)からの繰越金
1,912,421円



[支出]



「手」で表すことば、「目」で見ることば

手話とは、文字どおり「手で表すことば、目で見ることば」です。手話は音声言語と同様に、言語として同じ機能を持ち、手話をコミュニケーションとする聴覚障がい者にとって、日常の暮らしの中で自由に使われています。

上尾市の手話講習会は昭和53年から開始され、聴覚障がい者との理解と手話への啓はつ、手話通訳者の養成等を目的に開催しています。手話講習会の運営は、上尾市聴覚障害者協会と手話通訳問題研究会に協力をいただきながら上尾市身体障害者福祉センターが実施しています。募集については、「広報あげお4月号」に手話講習会(入門編)、(基礎編)、手話通訳者養成講習会(通訳Ⅱ)を掲載しています。

皆さんも手話講習会に参加してみませんか

社会の中で手助けが出来ればとの思いで参加しました。手話講習会(入門編)には、老若男女が集い、楽しい雰囲気であったという間の5ヶ月間でした。私の中のバリアは取り払われました。次のステージは、サークル活動の場へ。明るく共に支え合う明日へと、稔りの秋となりました。

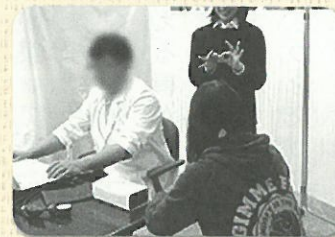
受講生(入門) 藤川 信子

手話は声の届かない場所でも意思疎通ができる言語です。例えば、雑音の中や相手との距離が遠い時、閉めきった窓ガラス越しにさえ繋がる事が出来ます。そんな素敵な言語が私は大好きなので、興味のある方は是非手話に触れてみてください。

受講生(基礎) 衣鳩 千紘

自分の意思を手話という言語で、自分自身で伝えたい。これが学ばずきっかけでした。しかし、今は聴覚障がい者の思いを音声で、健聴者の思いを手話で伝える橋渡しを担えるよう勉強中です。初めて手話が通じた時の喜びを忘れず、仲間と共に頑張ります。

受講生(通訳Ⅰ) 山田 玉江



診察場面での手話通訳の様子



手話講習会(基礎編)の様子



手話通訳者養成講習会を修了し、上尾市登録手話通訳者選考試験に合格した方が手話通訳者として活躍しています。病院の診察や各種手続き、自治会の班長会議や学校の懇談会など、日常生活の様々な場面で手話通訳をしています。

市内には、手話を日常会話としている聴覚障がい者の方がたくさんいます。聴覚障がいは外見では判断しづらいため、周囲に気付いてもらえないことが多くあります。さまざまな情報が入りにくく、人との関わりが図られないために周囲の人たちとの関係が希薄となりがちです。多くの方が手話講習会に参加されて、聴覚障がい者への理解を深め、少しでも暮らしやすい社会を築いていきましょう。

問い合わせ 在宅福祉課 支援係(担当)
電話 776-2235 FAX 772-8647

登録ホームヘルパー募集

募集人数： 若干名
資格要件： 介護職員初任者研修修了以上
 (訪問介護職員養成研修(2級課程)修了相当)
勤務場所： 上尾市内
 ※おおむね自宅から徒歩および自転車で通える範囲
勤務時間： 毎週日曜日から土曜日のうち、決められた日および時間
給与等： 時給1,335円(身体介護、生活介護同額) 1年後昇給
 有りほか、土日祝日、早朝夜間、深夜手当等あり
申し込み： 所定の申込用紙(写真1枚貼付)に
 必要事項を記入の上、お申し込みく
 ださい。
 ※申込用紙は在宅福祉課または
 上尾市社会福祉協議会ホーム
 ページにあります。



問い合わせ 在宅福祉課 訪問介護係 Tel. 048-773-7827
 8:30~17:15 月~金曜日(祝祭日を除く)

平成30年度 上尾市社会福祉協議会 常勤職員募集

募集職種	職 種： 社協事業全般 人 数： 若干名 採用年月日： 平成30年7月1日
受験資格	年 齢： 昭和58年4月2日以降に生まれた方 ※長期勤続によるキャリア形成を図るため、若年層のみの募集とします。 資格等： 普通自動車免許を持ち(看護師・社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員)のいずれか。
試験日	一次試験： 平成30年5月13日(日)午前9時30分
会場	会 場： 上尾市総合福祉センター(上尾市大字平塚724番地)
申込手続き 受付期間	提出書類： 試験採用申込書(所定の用紙) 自己紹介書(所定の用紙) 資格を有する書類 申込方法： (持参又は郵送) 受付場所： 上尾市総合福祉センター内 上尾市社会福祉協議会・総務課 受付期間： 平成30年5月7日(月)まで ※郵送必着

◎詳しくは、「上尾市社会福祉協議会」ホームページより、「平成30年度上尾市社会福祉協議会職員採用試験案内」をご覧ください。

問い合わせ 総務課 総務係 Tel. 048-773-7155
 8:30~17:15 月~金曜日(祝祭日を除く)

平成30年度善意銀行助成金のお知らせ

上尾市社会福祉協議会では、市民の皆さまより「社会福祉の向上のため」の善意のご寄付をお預かりしています。

1 交通遺児の方への「入学・進級・卒業」の祝い金

対 象： 交通事故により、親権者が死亡・重度後遺障害になった交通遺児と生活をともにしている保護者で、上尾市内に住所を有している方
 ※保護者が婚姻されたり、遺児を監護しなくなった場合は対象外となります。
申請方法： 以下の書類を社会福祉協議会へ持参または郵送
A 所定の申請書(印鑑要)
 (※社会福祉協議会で配布またはHPよりダウンロード)
B 事故証明書または死亡診断書等の写し
C 入学・進級・卒業を証明する書類
D 住民票(家族全員が記載されたもの)
E 保護者名義の通帳の写し
受付期間： 平成30年4月2日(月)~4月27日(金)

問い合わせ 申し込み 地域福祉課 ボランティア係 Tel. 048-773-7155 9:00~17:15 月~金曜日(祝祭日を除く)

2 社会福祉向上のための事業助成

対 象： 市内に活動の拠点を置いて福祉に関する活動を行う社会福祉法人、NPO法人、その他の任意団体
対象事業： 高齢者、障がい者、児童等の福祉向上につながる社会福祉事業
 ※団体の日常的な経費、定例化した事業については対象外
助成金額： 10万円以内 ※審査があります。
申請方法： 以下の書類を社会福祉協議会へ持参
 ※審査のために詳細を確認させていただきますので、必ずご持参ください。
A 所定の申請書(印鑑要) (※社会福祉協議会で配布)
B 事業計画 **C** 事業予算
D 団体の概要のわかるもの
受付期間： 平成30年5月1日(火)~5月31日(木)

リハビリテーションの専門職を育成

上尾中央医療専門学校

作業療法学科・理学療法学科

広告

2018年オープンキャンパス・学校説明会開催日

5月19日(土)、6月23日(土)、7月21日(土)、22日(日)

※上記日程の詳細、及び8月以降の開催日は本校ホームページでご確認ください。

お申込み お電話もしくは申込フォームにて
 事前予約をお願いします。

申込フォームへ



TEL: 048-778-3232

受付時間 9:00~17:00(月~金)

所在地 〒362-0011 埼玉県上尾市大字平塚678-1

広告

スマイルサプライズ

smile surpr!se

私たちは考えます。
 お客様の驚きが感動へ
 どんな時でも頼られる、そんな会社であり続けたい
 お客様が笑顔になれる関係を目指したいと考えます。

株式会社
エコー宣伝印刷

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室7076
 ☎048-722-4681 ☎048-722-4682
<http://www.echo-senden.co.jp>